

しべちや 議会 だより



— 秋の大イベント・駅伝スタート —

第87号

平成24年11月1日発行

発行/標茶町議会
編集/広報調査特別委員会
電話/(015) 485-2111
住所/標茶町川上4丁目2番地

9月第3回定例会 (9月11日・12日)

24年度補正予算可決

一般会計 1億3,981万4千円の追加

下水道特別会計 100万円の追加

介護保険特別会計

保険事業勘定 1,538万円の追加

サービス事業勘定 1,064万3千円の追加

一般質問 **町政を問う** (3~7ページ) 7名11件の質問

意見書 2次医療圏の設定に関する意見書など4件可決 (8ページ)

第3回臨時会 (2ページ)

平成24年度 補正予算

第三回 定例会

■ 一般会計 1億3,981万4千円の追加

(主な内容)

- ・補修工事請負費(町道補修) 1億円
- ・商工団体補助金(プレミアム商品券) 450万円
- ・車両購入費(スクールバス) 840万円

下水道特別会計 100万円の追加

介護保険特別会計

- ・保険事業勘定 1,538万円の追加
- ・サービス事業勘定 1,064万3千円の追加

第3回定例会は9月11、12日に開催され、一般会計1億3,981万4千円を追加し特別会計と合わせて1億6,683万7千円の追加補正が提案され、議会はこれを原案通り可決しました。

条例の改正

第3回定例会で町条例改正が提案され審議を経て可決されました。

条例以外

①工事請負契約の締結について

【内容】

標茶町開発センター耐震改修建築主体工事

【金額】

5,549万2,500円

【契約者】

有限会社 丸石 星工務店

②教育委員会委員の任命について

任期満了に伴い次の2名が選任されました。

【吉原 平】

【若月 由美】

③人権擁護委員について町長から次の方が推せんされ議会はこれを認

めました。
【石窪 しのぶ】

第3回臨時会

・さくら保育園、町立幼稚園改築に伴う厨房機器購入

(取得金額)

447万3,000円

・ホシザキ北海道株式会社

・除雪グレーダー台

(取得金額)

3,689万4,900円

キャタピラーイーストジャパン株式会社



— 健康まつり —

深見 迪
議員

「ファミリーサポート」事業の早期実施を

町長 設置に向けて取り組む

問 親が安心して働くことができるようにするための働く親の勤務形態による「幼児、児童の送迎や預かり事業」など、いわゆるファミリーサポート事業の実施を町は約束していたが、まだ実施に至っていない。

ているか。

働く親のみなさんの実態を見ると、コンビニ店員や酪農ヘルパー、介護員など勤務時間が保育園や学童保育の時間帯から外れていて非常に困難を抱えている状況もある。また、急に軽度の病気で子どもが学校から

帰らざるを得ない場合など、急に仕事を休めない実態もある。一刻も早く事業展開をすべきと考えるかどうか。

また、事業を実施するとアドバイザーなど新たな雇用も生まれると考えるがどうか。



ファミリーサポート事業については、検討していきたいと考えていた。社会福祉協議会と実施主体について協議を行ってきたが、事業実施主体等が決まらず、まだ設置できない状況にある。また、病児対応に視点を置き、病院等での展開も検討してきたが実施には至っていない。

事業の必要性、重要性については十分認識しており、設置に向けて取り組む考えに変わりはない。

管内では、社会福祉協議会を中心に行われているので、これらの実施状況を参考にしながらさらに検討を進めていきたい。

一般質問
町政を問う

今夏の節電状況と冬の見通しは

黒沼俊幸
議員

町長 町内各機関と連携し備えていく

問 北電の泊原子力発電所の稼働停止により、7月23日から9月14日まで節電を呼びかけている。町民もこのことを理解し、節電に取り組んでおり、現在は心配した停電もなく推移しているが、役場庁舎をはじめとする公共施設はどのように取り組んでいるのか。

また、昨年の同時期と比較して節電の状況はどのようになっているか伺う。

本町の酪農家には計画停電のグループ表が配られた。例えば午前8時30分から11時、午後6時30分から午後9時までのグループなどとなっている。

停電が行われる時は、時間をずらして搾乳を行うよう計画されている。秋は、平常に推移すると思われるが冬にかけては夏以上の節電が必要と聞いている。北電、農協、商工会などを中心とした節電対策の連携は万全か伺う。



町として計画停電をさせないよう、役場庁舎及び公共施設では、平成22年度と比較して7パーセントの節電を目標として取り組んでいる。7月の9日間の実績では9.6パーセントの節電実績となった。8月はこれ以上の節電となると予想している。

冬期間の電力需給見通しについては、新聞報道では北電の会見で「1.4パーセント不足の見通し」となっている。今後、釧路地域電力需給連絡会議での説明により、その対応を検討し、町内各機関と連携し備えていきたい。



問

今年度4月1日付で北海道水資源の保全に関する条例が制定された。目的は北海道の豊かで清らかな水は道民のかけがえのない財産であり、次世代に引き継いでいくため、全ての人が一体となって水資源の保全に取り組み、水源周辺の土地が適正に利用されることを目指すものである。

このたびは標茶町多和地区が保全地域に係る指定の区域として指針(案)が告示されたが今後の取り組みなど2点について伺う。

松下 哲也
議員

水資源の保全に対する取り組みを

町長 必要性に応じ提案していきたい

① 本町には水源地域が6ヶ所あり、全て地下水、湧水で全国的にも誇れる財産である。全ての水源地を保全地域に指定すべきと考えるが多和地区の指定の経緯と残りの地区の指定に向けた取り組みを伺う。

② 水資源の保全に対する町民、事業者及び土地所有者等の理解と促



— 豊かな水資源 —

答

町内7ヶ所の水源のうち一番給水人口が多い水源であり、農地法や森林法など他の法律の規制が少い事などから、第一、第二ポンプ場を同一水源と考え半径一キロメートルの範囲を指定した。残り5ヶ所の水源については、指定の必要性が高いと判断した場合に提案していきたい。また、制度内容の普及と啓発を図るべく北海道と連携し広報誌等を通じ周知していく。「森と川の月間」ではどのような取り組みが可能か検討していく。

後藤 勲
議員

しべちや斎場の清掃業務を委託できないか

町長 状況を見ながら判断

問

しべちや斎場の改築により、清掃面積が広範囲になり利用者に負担がかかっている。火葬が終了した後、利用者が清掃を行っているが、清掃に時間がかかるためその後の法要等に間に合わないこともある。この様なことから、しべちや斎場の清掃業務は利用者ではなく、専門の会社に委託するなどし、利用者の負担を軽減することは出来ないか、また年に数回は大掃除も必要と考えるかどうか。

答

現在も町民の負担軽減を図りながら待合室、休憩室のみの清掃を実施しているが、その後、管理人が施設全体のガラス清掃を行っている。なお施設全体の清掃や大掃除などについては、委託料を予算計上しているので今後状況を見ながら専門業者に委託も考えている。



— しべちや斎場待合室 —

酪農学園大学との協定の積極的事業展開を

長尾式宮
議員

町長 交流が深まるよう働きかけていきたい

現時点では標茶町農業協同組合・酪農学園大学間で酪農業に関する調査データがフィードバックされていることは伝え聞いているが、その他にこの「地域総合交流に関する協定」に関わる事業がどのように展開されているのか、その進捗状況

を伺う。また、酪農学園大学講師による一般向けの講演会を開き、地域産業・環境への関心、ひいては「地域総合交流に関する協定」の有益性を町民に実感してもらう事も必要ではないかと思うが所見を伺う。

昨年4月に酪農学園大学・標茶町・標茶町農業協同組合・北海道標茶高等学校の4者間で「地域総合交流に関する協定」が締結された。酪農学園大学は標茶町の産業・文化・生活・観光・教育等の振興と発展に協力、標茶町は、酪農学園大学の環境システム学部・酪農学部の研修受入等の教育研究推進事業に協力するなど、相互に関心のある課題について交流を促進し、研究者及び研究分野において、連携協力を推進していくと記されている。

進捗状況としては昨年度において3回の研修会を実施し、本町農業の分析、エゾシカ対策、家畜ふん尿の管理と利用、畜舎排水、GISの運用をテーマとした。またJAの中期計画策定にあたり現状分析と問題解決の方向性についてデータ作成や助言を得た。

町民参加型としては、3月に開催したエゾシカ活用フォーラム「エゾシカを食卓に」は50名を超える参加があった。今後も積極的に企画し、協定者相互の交流に努めていきたい。



キャンプ場の施設整備の充実を求める

鈴木裕美
議員

町長 護岸整備は難しい

町のキャンプ場は、地域住民の健康増進と自然体験を通じた交歓、学習、旅行及びレクリエーションの場並びに地域住民と都市住民との交流の場としての利用に供することを目的として、4ヶ所設置されている。4ヶ所のキャンプ場それぞれ利用者層も異なっているが、利用状況や利用者の声などのように把握しているのか伺う。虹別オートキャンプ場は、平成十二年に設置され、町内をはじめ道内、道外からの利用者も多く、週末等はコテージや各サイトの空きがない状況と聞いている。使用料が安価で、清掃管理が行き届いている。そして森林浴、つり、遊びの広場があり、緑豊かな大自然の中の施設として好評を得ているが、家族連れで二三日滞在するのに水遊び場の設置をとの要望を聞いて

虹別オートキャンプ場は、シユワンベツダムの景観を利用するように整備され、フィッシングの場として利用され水遊び場としての親水護岸整備は難しいと考える。

一つの施設で全てを満足させることは条件が厳しいが、運営委員会と情報交換を行い満足度を上げ、利用者への増に向けた施設管理を行っていく。



— 虹別オートキャンプ場 —

問

滋賀県大津市の中学2年の男
生徒が昨年10月に自殺し、
生徒の父親が本年7月大津市を訴え
た。これを皮切りに各地でいじめに
遭った事例が表面化し社会問題に
なっている。本町教育委員会で5・
6月に町内全小中学校を対象に「い

じめ実態調査」をお

こなったとの報道が
あったが、以下の7点
について伺う。①いじ

め実態調査は通算何度
目か、年2回、定期的

か不定期か。②小中学
生に対する調査は同じ

設問か、設問数は何項
目か。③本町と釧路管

内町村とのいじめ実態
調査やアンケート結果

による数値比較はど
うか。④いじめ相談ダイ

ヤル等の設置はされ
ているのか。⑤インター

ネットの掲示板に生徒
の個人情報を書かれて

いた場合のチェック体
制はどうか。⑥全小中

学生に対し「いじめる

「いじめ実態調査と今後の取り組み」について

川村多美男
議員

教育長 いじめを許さない学級づくりを進める

側が100%悪い」という考え方を
徹底すべきだ。⑦校長を中心に学校
全体でいじめの芽の兆候を早期発見
できる体制の構築や、被害者の保護、
加害者への措置、両者のこころのケ
ア、再発防止を含めた「いじめ防止
条例」の制定も検討すべきと考え
るかどうか。

答

①いじめ調査回数は、年2回
の実施で通算10回である。②

調査項目は小学校、中学校と同じ項
目になり設問数は8項目である。③

「いじめは許されないとするか」の
設問について、管内との数値比較は

できない。④相談窓口は、道教委
が「こども専用フリーダイヤル」を

設置している。⑤民間会社に委託し
ネットパトロールを実施している。

⑥校長会議等で指導の見直しをして
いる。⑦防止条例の設置は考えてい

ない。



その他の一般質問

深見 迪 議員

認知症や一人暮らし高齢者
のため「成年後見人等の確
保のための事業」の推進を

問

厚生労働省は、本年4月1日
施行で老人福祉法第32条の2
を創設し、「市町村は、後見、保佐、
及び補助の業務を適正に行うこと
ができる人材の育成及び活用を図る
ために必要な措置を講ずるよう努
めるもの」とし、「市民後見人の育成
及び活用に向けた取り組みについて」
市町村の努力義務とした。

認知症高齢者や一人暮らし高齢者
の増加に伴い、その生活、人権や財
産を守るため本町でも「市民後見人」
の確保を目的にした事業の推進を行
うべきと考えるかどうか。

答

認知症高齢者や一人暮らし高
齢者の増加に伴い、中には親
族等による成年後見の困難な人も増
加するものと見込まれ、介護サービ
ス利用契約の支援などを中心に、担
い手の確保が必要であると認識して
いるが、実施するための専門講師の
確保や、養成修了後のフォローアッ
プの研修も必要など、現状ではかな
りハードルが高い事業である。

今後、標茶の実情にあった取組み
について関係機関である社会福祉協
議会等と協議を進めていきたいと考
えている。



普通交付税の増額を活用し
介護保険料の減額を

深見 迪 議員



2012年度の普通交付税の配分額が本年7月に決定し、発表された。それによると、本町の交付税の金額は昨年度に比べて約2億7千万円の増額となっている。この増額分について町は何か特別な事業展開を考えているか。

本町の第5期介護保険料は今年度から月額5,725円となり、その額は全道第3位になり高齢者の生活を圧迫している。

今回の交付税の増額分を活用して、介護保険料を年額で平均1万円の減額を実施してはどうか。



増額分の活用については、今後においても増え続ける社会保障費、低迷する地域経済、耐震等の安全対策、地域産業の推進等々に備え長期的視点での活用を考えている。

現在の保険料については、第5期標茶町高齢者保健福祉・介護保険事業計画で町民の必要とするサービス利用量を算定して決めた。また、低所得者への配慮として、所得に応じ

た保険料の設定をした。

一般会計繰り入れによる保険料減免措置については、国や道の指導もあることから考えていない。



肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を

後藤 勲 議員

我が国の死因の第四位となっている肺炎については、ワクチンを接種することで重症化を防ぐことが出来ると言われている。釧路管内では厚岸町が今年度初めて高齢者の死亡率の低下、医療費削減などに期待し、70歳以上の町民を対象に肺炎球菌ワクチン接種費用の半額助成を行っている。一回のワクチン接種で五年間は効果が期待できる状況

ではあるが、接種費用が高額なため、本町も70歳以上を対象に費用の半額を助成出来ないのか。

定期接種化を目指すワクチンの中に成人用肺炎球菌も含まれていることから、これらの推移を見ながら、本町としても高齢者の肺炎球菌の感染予防や医療費削減などに期待を持っていることから、関係機関との調整を図りながら検討していきたい。なお町立病院のワクチンの在庫状況については、十分な量を確保している。

策を考えているか。

特定不妊治療費助成事業は北海道が実施している。

不妊治療費は一回の治療費が高額で経済的負担が重いことから、十分な治療を受けることができず、子どもを持つことを諦めざるをえない人も少なくない。釧路管内の鶴居村では、治療費を助成しているが、本町も道事業に上乘せをして助成をする考えはないか。

特定不妊治療は特定疾患等他の疾病と同列に扱うものではないと判断し、現状では町独自の制度の創設は考えていない。北海道の特定不妊治療助成事業については、内容も年々充実されてきており、助成制度と不妊治療相談窓口について住民周知に努めていく。



不妊治療費の助成を求める

鈴木 裕美 議員

管内的な課題として、釧路管内には特定不妊治療費助成事業指定医療機関がなく治療を受けづらい環境にあり、さまざまな機会を通して働きかけを行っていく。



不妊に悩みを持つ人は本町にも少なくないと考える。不妊に悩みを持つ人に、町は支援

予算審査特別委員会

総括質疑

予算審査特別委員会での2名の議員が質疑を行いました。

川村 多美男 議員

●消費電力抑制やCO₂削減のためにも役場から直管LEDの導入をすべきだ。

●一般住宅火災報知器の更なる設置率向上に向け取り組みべきだ。

●桜公園の遊具等を含めた全体的改修が必要ではないか。

●旭1号公園内のトイレの水洗化をすべきではないか。



— 標茶町立図書館 —

●小中学校の夏・冬休み期間中も標茶図書館の開館を。

館田 賢治 議員

●職員の挨拶励行、出勤時間の厳守について。

●国の特別公債法案による町への影響は。

●再生エネルギー、太陽光発電への助成をどう考えるか。

●介護保険訪問介護、医療を含む24時間体制への対応状況は。

●地域総合整備資金元金繰上償還による町との関わりについて。

●農業委員会事務局長を専任配置する考えは。

●合併浄化槽設置の実現見通しは。

意見書

次の4件の意見書が可決され、関係機関に送付されました。

◆意見書第15号

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

義務教育への国庫負担の堅持と充実、「30人以下学級」の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置、給食費、修学旅行費、教材費等の保護者負担の解消など教育環境の改善充実を求めたものです。

◆意見書第16号

道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に

応じた高校づくりの実現を求める意見書

北海道教育委員会が2006年に策定した「新たな高校教育に関する指針」は、地域の衰退につながることから見直しを求め、「公立高校配置計画」については地域や住民の意見を聞くこと、「遠距離通学費等補助制度」の存続と制度対象の拡大を求めたものです。

◆意見書第17号

緊急事態に関する意見書

外部からの武力攻撃、テロ及び大規模自然災害、尖閣諸島や北方領土等の領土問題や北朝鮮によるミサイルの脅威など国民の生命・財産を脅かす事態を想定し、緊急事態に対応する必要な法整備を要望したものです。

◆意見書第18号

2次医療圏の設定に関する意見書

国に対して「2次医療圏の見直し」に対しては、人口規模だけでなく、面積や自然環境等の地理的条件、交通事情等の社会的条件を踏まえて検討し、都道府県の自主的判断に基づく柔軟な取り扱いが可能となるよう、地域の医療体制の維持、充実を要望したものです。

他に次の意見書が提出されましたが、いずれも少数否決されました。

◆意見書案第12号

国民の声に耳を傾け、消費税増税の撤回を求める意見書

◆意見書第13号

米海兵隊の垂直離着陸輸送機オスプレイの配備撤回を求める意見書

◆意見書第14号

野田首相の福島原発事故の「収束宣言」の撤回、福島原発事故原因の徹底究明・検証と北海道泊原発をはじめとする原発の再稼働をしないことを求める意見書

常任委員会報告

総務経済委員会

◆調査日時

平成24年5月15日
平成24年8月9日～10日
平成24年8月29日

◆調査事項

太陽光発電について
バイオガス発電について

◆調査の経過及び内容

平成23年3月11日の東日本大震災による福島第一原発の事故以来、エネルギーのあり方が見直されてきている。太陽光発電、バイオガス発電の現状について、それぞれ先進地の視察を行ない、調査を行った。

◆委員会の所見

太陽光発電は安定的な供給とはならないが、環境に

やさしいエネルギーとして今後も普及が進むと考えられる。システムの購入、設置費用は年々下がってきてはいるが、未だ高額なため導入経費が最大の問題となつている。今後、国の補助制度の動向を注視しながら、本町でも補助制度、資金貸付制度の創設に向け検討し実施すべきである。

バイオガスプラントは、家畜ふん尿の適正処理による環境改善、CO₂削減による地球温暖化防止、バイオガスによるエネルギー生成、有機質肥料として消化液の製造など多様な要素がある。

施設整備には多額の費用がかかるが、本町の基幹産業である酪農の維持継続を図る点からも、また、売電価格が1KWh当り39円となつたことにより、費用対効果の面からも十分導入が可能な状態と考えられる。



― 鹿追町環境保全センター バイオガスプラント ―

導入を促進させるため、標茶町も環境にやさしい自然エネルギー、地域に賦存する新エネルギー、再生可能エネルギーを推進していく町を目指し、総体的に検討することが必要と考える。

8月に「標茶町エコヴィレッジ推進協議会」が設立されたが、標茶町が目指す環境にやさしい資源循環型酪農の基本理念を早急に策定し、本町にふさわしい再生可能・自然エネルギーの活用についての方策を推進することが必要である。

厚生文教委員会

◆調査日時

平成24年8月7日

◆調査場所

標茶町役場 議員室

◆調査事項

さくら保育園、町立幼稚園の合築後の運営について

◆調査の経過

住民課長から、23年7月21日さくら保育園、町立幼稚園改修に係わる保護者説明会から24年7月18日さくら保育園、町立幼稚園合築に係わる保護者合同説明会までの経過を説明会での説明資料に基づき説明を受けた。その後質疑を行った。

◆委員会の所見

標茶町第4期総合計画に基づき合築が進められている。

幼稚園、保育園での集団

生活などは、心身の健やかな成長を促しコミュニケーションが育成される重要な時間でもある。幼児の望ましい心身の発達を促す幼児教育や家庭教育を進めていくことが求められている。幼保一元化のメリットを生かし、標茶型幼保一元化をさらに視野にいれた環境整備を進めていくのが重要である。



― まちどおしいなあ～・桜保育園、町立幼稚園合築工事 ―

第三回定例会 議会公日誌から

六月二十八日	広報調査特別委員会
六月二十九日	広報調査特別委員会
七月三日	北海道町村議会議員研修会
七月九日	広報調査特別委員会
七月十二日	広報調査特別委員会
八月六日	議会運営委員会
八月七日	第二回臨時会
八月七日	厚生文教委員会所管事務調査
八月八日	標茶農協との意見交換会
八月九日	総務経済委員会所管事務調査
〃十日	
八月十七日	川上郡衛生処理組合議会第二回定例会
八月二十九日	総務経済委員会所管事務調査
八月二十九日	釧路北部消防事務組合議会第二回定例会
九月七日	議会運営委員会
九月七日	議員会第七回学習会
九月十一日	第三回定例会
〃十二日	



一 産業まつりでの中学生ボランティアによるごみ分別回収

編集後記

第3回定例会は9月11日・12日の二日間に亘り開催されました。一般質問は7名11件、予算総括質疑は2名12件を町長、教育長に対し活発な質疑、応答が展開されました。定例会に先立ち9月1日には標茶町総合防災訓練が実施され、各町内会住民の参加をはじめ、緊急救出や人工蘇生等消防団員による緊迫した実地訓練が行われました。本町は地震や大雨による洪水の災害時を想定した各機関との協定が結ばれていることは大変意義深いと考えております。

東日本大震災から1年半が経過し、復旧・復興のスピードアップが期待されます。議会として予算の配分等に意を配し町民のための予算になっているのか、議会が日々精進すべく努力して参ります。

(文責 川村 多美男)